

款 3 民生費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
25,773,335,000 円	25,156,305,689 円	97.6%	140,000,000 円	477,029,311 円

項 1 社会福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,453,926,000 円	6,986,374,587 円	93.7%	140,000,000 円	327,551,413 円

目 1 社会福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,364,346,000 円	4,032,053,692 円	92.4%	140,000,000 円	192,292,308 円

(福祉総務課)

〔明許繰越〕

〔後期高齢者医療制度経費〕 58,240,225 円 (国庫支出金 11,107,000 円)

〔一般職給〕 56 人 468,139,069 円

国庫支出金	58,606,644 円
県支出金	14,040 円
その他特財	17,348,340 円

(保健福祉部 47 人、税務理財部 9 人)

〔嘱託職給〕 2 人 7,965,491 円

(福祉総務課)

目的	各種医療費の給付助成				
指標	受給者証交付人数等	目標	30,750 人	実績	31,666 人 (18 年度 23,190 人)
説明	各種医療費助成により経済的支援を行いました。乳幼児医療費助成は、通院分についても対象者を就学前までに拡大したこともあり、受給資格者数は 7,445 人増加となりました。心身障害者医療費助成については対象者が増加し、受給資格者数は 541 人増加しました。一人親家庭等についても、受給資格者数は 364 人増加しました。不妊治療費助成は、延べ 348 人に対して助成を行いました。今後も、これらの医療費の助成については、広報などで制度のさらなる周知に努めます。				

(受給資格者数等は年度末)

〔乳幼児医療費助成事業〕 353,878,685 円 (県支出金 143,741,453 円)

受給資格者数 17,935 人

〔心身障害者医療費助成事業〕 642,512,157 円 (県支出金 294,617,527 円)

受給資格者数 7,469 人

〔一人親家庭等医療費助成事業〕 118,770,039 円 (県支出金 61,406,200 円)

受給資格者数 5,914 人

〔福祉医療証明書料経費〕 57,085,800 円 (県支出金 25,028,427 円)

〔不妊治療費〕 24,829,000 円

受給者数 延べ 348 人

目的	市社会福祉協議会活動支援				
指標	ボランティアコーディネーター人数	目標	240 人	実績	277 人 (18 年度 188 人)
説明	地域福祉の推進を図るため、市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の団体の活動を支援し、地域住民や関係者の積極的な参加や相互協力のもとに、地域の福祉力を高めるた				

めの活動を行っています。各方面からのボランティアの要請に対し、ボランティアを紹介するなどの社協によるボランティア活動の促進を支援しました。

また、先駆的事业として成年後見制度の仕組みづくりに取りかかりました。

一方、民生委員・児童委員の活動についても支援しましたが、平成 19 年度は民生委員児童委員、主任児童委員の一斉改選の時期でもあり、民生委員・児童委員が 13 人増加しました。

今後も、各地域の福祉課題の解決を目指すため、ボランティア活動等が活発に展開されるよう市社会福祉協議会と連携を図りながら地域の福祉力の向上に努めます。

〔社会福祉協議会運営費補助金〕	120,000,488 円
・社会福祉協議会運営費	109,393,470 円
・市民啓発事業費	1,292,895 円
・ふれあいのまちづくり事業費	3,823,123 円
・ボランティアのまちづくり事業費	2,043,000 円
・振興基金補填事業費	3,448,000 円
〔権利擁護事業費補助金〕	432,000 円
〔社会福祉事業振興基金交付金〕	1,872,000 円 (その他特財 1,872,000 円)
〔民生委員児童委員協議会連合会補助金〕	26,068,520 円
活動者数	579 人
〔民生対策費補助金〕	
・四日市医師会補助金	13,740,000 円
・四日市歯科医師会補助金	4,349,000 円
・四日市薬剤師会補助金	875,000 円

目的	シルバー人材センター活動支援				
指標	会員の就業率	目標	87%	実績	87.7% (18年度 86.8%)
説明	<p>シルバー人材センターでは、企業訪問活動や一般家庭への宣伝普及に努め、会員の就業率の向上を図り、前年度比 0.9%増の 87.7%となるとともに、事業の受託額が平成 18 年度 650 百万円から平成 19 年度 669 百万円となり、前年比 2.9%増となりました。</p> <p>また、旧港保育園を活用した高齢者活用子育て支援事業も定着しており、指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営も順調に実施されています。今後も、会員の就業機会の確保だけにとどまらず、引き続き地域での清掃奉仕などに継続的に取り組み、市民に親しまれる事業展開を通じて高齢者の社会参加や生きがい対策を支援していきます。</p>				

〔シルバー人材センター運営費補助金〕	17,600,000 円
〔全国シルバー人材センター協会等負担金〕	100,000 円
〔保護司会補助金〕	1,590,000 円
活動者数	117 人
〔更生保護女性の会補助金〕	108,000 円
活動者数	1,669 人
〔遺族対策費補助金〕	1,561,000 円
会員数	2,116 人
〔四日市傷痍軍人会補助金〕	742,000 円
会員数	129 人
〔三重県原爆被災者の会補助金〕	103,000 円
会員数	99 人

目的	各種手当等の支給 (障害者等)				
指標	受給者数	目標	4,493 人	実績	4,439 人 (18年度 4,594 人)
説明	<p>各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。今後も、障害者手帳の交付時や転入時に案内を行うなど、制度の周知を図り、適正な支給に努めます。</p>				

(受給者数は年度末)

〔特別障害者手当等の支給〕

- ・特別障害者手当等運営対策経費 238,860 円
- ・特別障害者手当等扶助費 119,371,100 円 (国庫支出金 89,227,050 円)

受給者数 505 人

〔重症心身障害者手当の支給〕

- ・重症心身障害者手当 95,374,000 円

受給者数 3,895 人

〔在日外国人福祉給付金の支給〕

- ・在日外国人福祉給付金 2,525,000 円

受給者数 39 人

その他経費

- 〔社会福祉一般事業費〕 28,824,671 円 (県支出金 87,000 円)
- 〔県土地開発公社所有地買戻し事業費〕 81,348,646 円 (債務負担行為限度額のうち 19 年度分)
- 〔保健福祉総合システム運営費〕 19,225,388 円
- 〔社会福祉事業振興基金積立金〕 4,680,670 円 (その他特財 4,680,670 円)
- 民間社会福祉事業
(平成 19 年度末現在高 民間社会福祉事業分 403,525,904 円)
- 〔後期高齢者医療広域連合運営経費分賦金〕 60,109,000 円
- 〔後期高齢者医療制度経費〕 17,726,957 円 (国庫支出金 9,760,800 円)
- 〔一般経費〕 6,002,943 円

(障害福祉課)

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設
説明	障害者の就労を促進し、職場への定着を支援する通勤寮や、養護学校卒業後の就労の場、日中活動の場である小規模作業所や通所授産施設等を確保するため、引き続き、社会福祉法人に対し建設費補助を行いました。また、心身障害者小規模作業所の移転にかかる改修に対して建設費補助を行いました。今後は障害者自立支援法に基づく施設への移行等、施設の整備に努めます。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・心身障害者小規模作業所建設費補助金 5,339,000 円 (県支出金 2,669,000 円)

施設名	実施額	備考
生活倶楽部きりん	5,339,000	

- ・知的障害者通所授産施設建設費補助金 2,055,710 円

施設名	実施額	備考
かすみヶ浦ブルーミングハウス	984,500	債務負担行為限度額のうち 19 年度分
わかたけ萩の里	1,071,210	"

- ・知的障害者通勤寮建設費補助金 920,000 円

施設名	実施額	備考
通勤寮ブルーミング	920,000	債務負担行為限度額のうち 19 年度分

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内の生活介護サービス実施施設数	目標	25 施設	実績	30 施設
説明	視覚障害者の活動拠点である視覚障害者福祉センターの運営費補助を行うとともに、重度障害者の日中活動の場、社会参加の場である通所更生施設やデイサービス施設の建設費補助を引き続き行い、施設の整備、充実に努めました。 また、障害者自立支援法の基準該当生活介護サービスの事業所として、介護保険指定事業所の指定を進めました。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 975,947 円

施設名	実施額	備考
サクラノ園	975,947	債務負担行為限度額のうち 19 年度分

- ・知的障害者デイサービス施設建設費補助金 983,400 円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	983,400	債務負担行為限度額のうち 19 年度分

〔社会福祉協議会運営費補助金〕

- ・視覚障害者福祉センター運営費 1,922,414 円

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数	目標	6 施設	実績	6 施設 (18 年度 6 施設)
説明	知的障害者入所更生施設や身体障害者療護施設の建設費、老朽化施設の大規模改修費の補助を引き続き行い、生活の場の整備や施設の生活環境改善を支援しました。今後は施設の老朽化にともなう改築等について支援します。				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・身体障害者療護施設建設費補助金 1,421,684 円

施設名	実施額	備考
エビノ園（大規模改修）	1,421,684	債務負担行為限度額のうち 19 年度分

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 5,136,947 円

施設名	実施額	備考
清和苑	2,750,000	債務負担行為限度額のうち 19 年度分
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	〃

その他経費

- 〔システム開発費〕 13,999,650 円

障害者自立支援法にかかるシステム改修費

- 〔各種障害者大会経費補助金〕 400,000 円

第 15 回全国障害者馬術大会事業補助金

みみの日記念第 28 回手話劇コンクール開催補助金

- 〔社会福祉一般経費〕 4,300,189 円

四日市市障害者施策推進協議会経費など

（介護・高齢福祉課）

- 〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕 166,037,035 円 （国庫支出金 10,000,000）

- ・特別養護老人ホーム建設費補助金 79,460,698 円

施設名	実施額	備考
-----	-----	----

小山田特別養護老人ホーム(増築)	2,694,700	債務負担行為限度額のうち19年度分
特別養護老人ホームヴィラ四日市	3,224,894	〃
特別養護老人ホーム陽光苑(増築)	1,549,947	〃
特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	〃
特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑	4,814,000	〃
特別養護老人ホームヴィラ四日市(増築)	1,768,000	〃
小山田特別養護老人ホーム(大規模修繕)	971,000	〃
特別養護老人ホーム南部陽光苑	5,293,000	〃
介護総合センターかんざき	5,195,000	〃
小山田特別養護老人ホーム(大部屋解消・ショート増築)	2,133,000	〃
特別養護老人ホーム英水苑(増築)	928,000	〃
特別養護老人ホームうねめの里	980,000	〃
特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑(増築)	29,531,000	平成19年度一括補助
第二小山田特別養護老人ホーム(改修)	16,233,000	〃

・老人デイサービス施設建設費補助金 16,147,000 円

施設名	実施額	備考
四郷デイサービスセンター	1,091,000	債務負担行為限度額のうち19年度分
YMCAデイサービスセンター	1,276,000	〃
よっかいち諧朋苑デイサービスセンター	994,000	〃
みなとデイサービスセンター	1,148,000	〃
富田浜デイサービスセンター	969,000	〃
南部陽光苑デイサービスセンター	968,000	〃
ハピネスやさとデイサービスセンター	941,000	〃
川島デイサービスセンター	951,000	〃
うねめの里デイサービスセンター	972,000	〃
くぬぎの木デイサービスセンター	979,000	〃
日永英水苑デイサービスセンター	988,000	〃
かんざきデイサービスセンター	934,000	〃
富洲原デイサービスセンター	994,000	〃
聖十字保々デイサービスセンター	1,025,000	〃
しおはまデイサービスセンター	939,000	〃
天カ須賀デイサービスセンター	978,000	〃

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848 円

施設名	実施額	備考
小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち19年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	〃
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	〃
富田浜老人保健施設	1,039,473	〃

・軽費老人ホーム建設費補助金 9,549,683 円

施設名	実施額	備考
小山田ケアハウス	1,950,631	債務負担行為限度額のうち19年度分
ケアハウス常磐	3,564,052	〃
グリーンライフ英水苑	4,035,000	〃

・老人福祉施設建設費補助金 32,772,806 円

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	32,772,806	債務負担行為限度額のうち19年度分

・ショートステイ施設建設費補助金 20,000,000 円 (国庫支出金 10,000,000 円)

施設名	実施額	備考
ユートピア短期入所生活介護施設	20,000,000	平成19年度一括補助

〔社会福祉協議会運営費補助金〕 8,483,786 円

・西南総合福祉センター運営費 8,483,786 円

その他経費

・一般経費 712,735 円

(児童福祉課)

〔社会福祉振興費〕 1,568,828 円

・母子福祉協力員活動助成費 188,000 円

・母子家庭自立支援給付金事業 1,380,828 円 (国庫支出金 1,049,000 円)

〔一般経費〕 2,091,011 円

・一般経費(児童福祉課)

〔社会福祉事業振興基金積立金〕 74,334 円 (その他特財 74,334 円)

・障害児福祉事業
(平成19年度末現在高 障害児福祉事業分 13,829,398 円)

(保護課)

〔法外扶助費〕 3,991 件 23,340,066 円

・夏季見舞金 1,795 件 16,753,000 円

・歳末見舞金 1,805 件 4,422,000 円

・小中高校入学支度金 79 件 1,429,000 円

・就職支度金 13 件 277,696 円

・中1夏服購入費 29 件 243,330 円

・行旅人措置費用 266 件 133,000 円

〔国民生活基礎調査等事業費〕 419,247 円 (県支出金 419,247 円)

(保険年金課)

〔老人保健医療特別会計繰出金〕 1,435,883,000 円

目2 障害者自立支援費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,270,390,000 円	2,192,121,739 円	96.6%	0 円	78,268,261 円

(障害福祉課)

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設
説明	<p>身体障害者通所授産施設あさけワークスでは、授産活動を通じて社会生活能力を高め、自立や社会参加の促進を図るとともに、重度重複障害者を受入れるなど、ニーズに応える施設運営を行いました。</p> <p>知的障害者通所授産施設共栄作業所では、日中活動や就労の場の確保に努めました。</p> <p>また、障害者自立支援法に基づく就労移行支援事業、就労継続支援事業において、就労に必要な訓練や就労の機会の提供を行いました。</p>				

〔あさけワークス管理運営費〕	48,863,450 円	〔国庫支出金 12,004,014 円 県支出金 8,090,007 円 その他特財 1,121,379 円〕
社会福祉協議会へ指定管理者委託	45,809,000 円	
定員 20 人、通所者数 15 人		
施設修繕（空調取替、屋上防水）	3,054,450 円	
〔共栄作業所管理運営費〕	62,194,000 円	〔国庫支出金 27,531,713 円 県支出金 16,189,756 円 その他特財 2,094,298 円〕
社会福祉協議会へ指定管理者委託	61,375,000 円	
定員 37 人、通所者数 32 人		
施設修繕（エアコン取替）	819,000 円	
〔就労移行支援事業費〕	7,898,927 円	〔国庫支出金 3,949,464 円 県支出金 1,974,732 円〕
就労移行事業所 4 ヲ所、利用者 9 人		
〔就労継続支援事業費〕	29,687,583 円	〔国庫支出金 14,784,887 円 県支出金 7,480,443 円〕
就労継続事業所 6 ヲ所、利用者 62 人		
〔職親委託事業費〕	720,000 円	〔国庫支出金 360,000 円 県支出金 180,000 円〕
事業所 2 ヲ所、利用者 2 人		

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	手話通訳者派遣人数	目標	650 人	実績	714 人 (18 年度 638 人)
説明	<p>障害者が円滑に外出することができるよう障害者の移動を支援する事業として、移動支援事業や視覚障害者を支援するガイドヘルパー派遣事業、重度身体障害者の移動手段を確保するリフト付タクシー運行事業、コミュニケーション手段を確保する手話通訳者派遣事業を実施するとともに、新規に要約筆記奉仕員派遣事業を開始し、障害者の社会参加活動の促進を図りました。</p>				

〔移動支援事業費〕	20,055,240 円	〔国庫支出金 9,540,000 円 県支出金 4,769,000 円 その他特財 441,015 円〕
・移動支援事業		
利用者数 90 人、延べ利用時間 3,307 時間		
・ガイドヘルパー派遣事業		
対象者数 54 人 派遣時間 3,460 時間		
・リフト付きタクシー運行事業補助金	7,900,000 円	
利用者数 5,763 人 運行回数 3,020 回		
リフトタクシーを運行するフットワークエクスプレス(株)へ運行経費を補助		
〔手話通訳者派遣事業費〕	5,403,186 円	〔国庫支出金 2,384,000 円 県支出金 1,191,000 円 その他特財 955,716 円〕
依頼件数 516 件 延べ人数 714 人		
〔要約筆記奉仕員派遣事業費〕	1,192,860 円	〔国庫支出金 480,000 円〕

依頼件数 73 件 延べ人数 309 人 県支出金 666,000 円

〔自動車改造給付費〕 1,034,480 円 国庫支出金 517,000 円
1 件当たり 100,000 円限度 12 件分 県支出金 258,000 円

〔自動車運転免許取得費給付費〕 400,000 円 国庫支出金 200,000 円
1 件当たり 100,000 円限度 4 件分 県支出金 100,000 円

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内の生活介護サービス実施施設数	目標	25 施設	実績	30 施設
説明	たんぼぼは、これまで旧法の知的障害者更生施設でしたが、19 年度からは障害者自立支援法に基づく生活介護を行う事業所に移行しました。障害者福祉センターにおいては、機能訓練、創作的活動、社会適応訓練及び広報、啓発等の事業を実施しました。また、障害者の日中活動の場として、生活介護事業所においては、入浴、排せつ、食事の介護や創作的活動や生産活動の機会の提供を行うとともに、障害者が身近な施設でサービスが受けられるよう、介護保険指定事業所を障害者自立支援法の基準該当生活介護サービスの事業所として指定を行うなど、障害者の社会参加の場の整備充実に努めました。				

〔たんぼぼ管理運営費〕 96,323,000 円 国庫支出金 44,383,135 円
社会福祉協議会へ指定管理者委託 県支出金 24,572,298 円
定員 35 人、通所者数 33 人 その他特財 2,547,675 円

〔障害者福祉センター管理運営費〕 36,033,000 円 国庫支出金 9,078,000 円
社会福祉協議会へ指定管理者委託 県支出金 4,112,000 円
デイサービス利用回数 1,599 回 その他特財 341,800 円

〔生活介護事業費〕 231,197,167 円 国庫支出金 87,343,991 円
生活介護事業所 5 カ所・利用者数 167 人 県支出金 43,944,995 円
基準該当生活介護事業所 25 カ所・利用回数 2,636 回 その他特財 44,802,802 円

〔児童デイサービス事業費〕 2,825,062 円 国庫支出金 756,879 円
児童デイ事業所 1 カ所、利用者 2 人 県支出金 378,440 円
基準該当児童デイ事業所 14 カ所・利用回数 448 回

〔身体障害者スポーツ振興事業費補助金〕 80,000 円 国庫支出金 40,000 円
スポーツ・レクリエーション大会補助金 県支出金 20,000 円

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	居宅介護等の介護給付支給人数	目標	210 人	実績	225 人 (18 年度 182 人)
説明	在宅で生活する障害者等を支援するため、ホームヘルパー等が訪問して行われる居宅介護、日中一時支援事業、一時的に施設に入所する短期入所事業など福祉サービスの利用促進を行いました。また、補装具や日常生活用具の給付、福祉電話・緊急通報装置の貸与等各種施策を実施するとともに、情報提供や福祉サービスの利用援助を行う相談支援事業を 19 年度から実施し、地域における自立生活を支援しました。				

〔居宅介護等事業費〕 162,221,022 円 国庫支出金 78,593,626 円
派遣時間数 52,616.5 時間 県支出金 39,296,813 円

〔短期入所事業費〕 31,552,290 円 国庫支出金 15,776,145 円
利用日数 3,583 日、利用者数 90 人 県支出金 7,888,073 円

〔相談支援事業費〕 36,392,010 円 国庫支出金 9,098,000 円

相談件数 延べ6,413件

県支出金 4,549,000円

〔日中一時支援事業費〕	12,271,316円	(県支出金 1,508,000円)
利用者数 837人		
〔訪問入浴サービス事業費〕	8,385,200円	(国庫支出金 4,192,000円)
利用者数 14人、利用回数 737回		(県支出金 2,096,000円)
〔補装具費〕	43,748,881円	(国庫支出金 21,874,440円)
交付・修理件数 483件		(県支出金 10,937,220円)
車いす、補聴器、義肢、装具等		
〔日常生活用具等給付事業〕	36,825,329円	(国庫支出金 18,314,000円)
給付件数 2,655件		(県支出金 9,157,000円)
ストマ装具、紙オムツ、特殊寝台、電気式たん吸引器等		
〔点字・声の広報発行事業〕	1,046,000円	(国庫支出金 523,000円)
点字版、録音版 月2回発行		(県支出金 261,000円)

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム・ケアホーム利用者数	目標	81人	実績	88人
説明	「施設から地域へ」を実現するため、グループホーム・ケアホームは、障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。今後も、事業所に働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備に努めていきます。				
〔共同生活介護事業費〕	69,466,563円	(国庫支出金 34,665,752円)			
ケアホーム 19事業所	利用者 74人	(県支出金 17,433,876円)			
〔共同生活援助事業費〕	5,787,354円	(国庫支出金 2,893,677円)			
グループホーム 7事業所	利用者 14人	(県支出金 1,446,839円)			

目的	保健・医療の充実				
指標	自立支援医療（更生医療）利用者数	目標	180人	実績	162人 (18年度 147人)
説明	障害を軽減するための入院・通院治療にかかる医療費給付を行ったほか、障害者に必要な機能訓練、生活訓練指導を行いました。平成19年4月から、医療保険制度において限度額適用認定制度が導入され、利用者が医療機関窓口で支払う自己負担額が軽減されたことにより、自立支援医療（更生医療）を受給する利点が減少したこともあり、利用者数は目標を下回りました。				

〔自立支援医療費〕	216,635,972円	(国庫支出金 108,284,426円)
利用者 162人（心臓 17人、腎臓 113人、その他 32人）		(県支出金 54,142,213円)
〔自立訓練事業費〕	3,860,258円	(国庫支出金 1,855,329円)
機能訓練、生活訓練 利用者 6人		(県支出金 927,665円)

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数	目標	6施設	実績	6施設
説明	「施設から地域へ」の流れの中においても、障害や介護の状況等によっては入所施設が必要です。障害者自立支援法においては、入所施設や病院で24時間暮らす従来のサービス提供のあり方の見直しをなされ、日中活動の場と住まいの場が区分され、施設の体系が変わりつつあります。施設入所支援では、夜間における住まいの場を、療養介護では病院等における療養上の管理、看護、介護等の場を提供し支援に努めました。				

〔施設入所支援事業費〕	12,378,833円	(国庫支出金 6,189,417円)
-------------	-------------	--------------------

県支出金 3,094,708 円

〔旧法施設支援事業費〕 943,257,926 円

〔国庫支出金 446,932,163 円
県支出金 227,790,082 円
その他特財 40,930,598 円〕

〔特定障害者特別給付費・特例特定障害者特別給付費〕

39,182,048 円

〔国庫支出金 19,591,024 円
県支出金 9,795,512 円〕

施設の利用状況
入所施設

施設名	施設区分	18年度末 入所者数 (人)	19年度末 入所者数 (人)	給付費 (円)
三重県身体障害者総合福祉センター	施設入所支援	0	3	1,717,983
三雲カトリックの家	施設入所支援	0	6	5,407,149
れんげの里	施設入所支援	0	3	2,971,305
城山れんげの里	施設入所支援	0	2	1,958,055
まもり苑	施設入所支援	0	2	670,790
彦根学園	施設入所支援	0	2	1,655,912
小 計 (施設入所支援)		0	18	14,381,194
小山田苑	旧法身体入所療護	21	23	85,086,038
エビノ園	旧法身体入所療護	33	29	109,582,293
菰野聖十字の家	旧法身体入所療護	10	10	38,108,730
三雲カトリックの家	旧法身体入所療護 (施設入所支援、生活 介護へ移行)	6	0	2,220,596
ケアホーム熊南	旧法身体入所療護	1	1	3,998,110
春日苑	旧法身体入所療護	1	1	4,416,076
八野ワーク入所	旧法身体入所授産	3	3	6,118,547
東京都清瀬園	旧法身体入所更生	1	1	1,697,667
和順寮	旧法知的入所更生	11	11	32,792,353
成峯寮	旧法知的入所更生	10	9	26,426,121
成美寮	旧法知的入所更生	0	1	909,690
津長谷山学園	旧法知的入所更生	4	4	11,180,828
和順学園	旧法知的入所更生	5	5	14,716,809
あさけ学園	旧法知的入所更生	12	12	35,292,369
済美寮	旧法知的入所更生	2	2	4,533,792
長谷山寮	旧法知的入所更生	9	9	23,348,307
まもり苑	旧法知的入所更生 (施設入所、生活介護 へ移行)	2	0	3,355,154
聖母の家	旧法知的入所更生	26	26	68,619,439
彦根学園	旧法知的入所更生 (施設入所支援、生活 介護へ移行)	2	0	426,964
しらさぎ園	旧法知的入所更生	4	4	11,893,562
三重県いなば園すぎのき寮	旧法知的入所更生	4	4	10,353,429
” かのき寮	旧法知的入所更生	6	4	22,503,406
” もみのき寮	旧法知的入所更生	2	2	6,066,740

名古屋市希望荘	旧法知的入所更生	1	1	2,070,362
向陽園	旧法知的入所更生	1	1	2,852,798
垂坂山ブルーミングハウス	旧法知的入所更生	16	16	45,535,102
緑の丘	旧法知的入所更生	3	4	8,297,358
くわのみ	旧法知的入所更生	3	4	11,029,318
清和苑	旧法知的入所更生	22	22	64,123,908
れんげの里	旧法知的入所更生 (施設入所支援、生活 介護へ移行)	3	0	807,535
風の丘	旧法知的入所更生	1	1	3,707,255
ルーベンハイム志摩	旧法知的入所更生	1	1	2,967,381
いつきの里	旧法知的入所更生	1	1	2,982,201
桃朋園	旧法知的入所更生	1	4	10,325,290
奈良県立大淀授産所	旧法知的入所授産	1	1	3,545,955
通勤寮ブルーミング	旧法通勤寮	9	8	8,975,338
通勤寮のぞみ荘	旧法通勤寮	2	2	2,385,352
小計(旧法施設)		240	227	693,252,173
合計(入所施設)		240	245	707,633,367

通所施設

施設名	施設区分	18年度末 入所者数 (人)	19年度末 入所者数 (人)	給付費 (円)
エビノ園通所	旧法身体通所療護	3	3	4,817,872
わだちコンピュータハウス	旧法身体通所授産 (生活介護へ移行)	1	0	69,705
第2八野ワーク通所	旧法身体通所授産	4	4	4,372,584
あさけワークス	旧法身体通所授産	16	15	13,388,921
サクラノ園	旧法知的通所更生 (生活介護へ移行)	31	0	3,680,198
名張育成園ういず	旧法知的通所更生	1	1	1,978,898
清和ワークキャンパス	旧法知的通所授産	22	21	38,765,592
バンブーハウス	旧法知的通所授産	8	7	12,555,503
かすみヶ浦ブルーミングハウス	旧法知的通所授産	23	24	39,972,898
わかたけ萩の里	旧法知的通所授産	28	26	44,077,524
ワークセンターひのき	旧法知的通所授産	9	9	20,772,902
グリーンランド	旧法知的通所授産	12	12	21,234,249
すずかぜ	旧法知的通所授産	10	10	17,434,077
愛光園ひかりのさとファーム	旧法知的通所授産	1	1	1,819,070
らふかつと	旧法知的通所授産	10	9	19,451,170
共栄作業所	旧法知的通所授産	33	32	27,546,877
フェア・ワークス下野	旧法相互利用	8	8	15,247,400
合計(通所施設)		220	182	287,185,440

〔療養介護事業費〕	11,423,305円	(国庫支出金 5,711,653円 県支出金 2,855,826円)
〔療養介護医療費・基準該当療養介護医療費〕	2,512,835円	
国立病院機構鈴鹿病院 利用者 4人		(国庫支出金 1,255,241円 県支出金 627,620円)
その他経費		
〔障害者介護給付審査会費〕	3,022,381円	(国庫支出金 1,511,000円)
〔給付費支払事務委託料〕	1,271,765円	

〔高額障害福祉サービス費〕	196,530 円	〔国庫支出金 98,265 円〕
		〔県支出金 49,133 円〕
〔高額地域生活支援事業利用者負担扶助費〕	4,240 円	
〔一般経費〕	458,810 円	
(児童福祉課)		
〔介護給付費〕	6,312,916 円	
・障害児デイサービス事業費		
（あけぼの学園利用分）	6,312,916 円	（その他特財 6,312,916 円）

目3 障害福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
326,132,000 円	283,642,236 円	87.0%	0 円	42,489,764 円

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	タクシー料金助成券利用枚数	目標	102,000 枚	実績	88,263 枚 (18年度 100,637 枚)
説明	重度障害者の外出を支援するため、タクシー料金や自動車燃料費の助成を行いました。昨年度は、利用者数は増加しましたが、一人あたりの利用枚数が減少したことにより総利用枚数が減少しました。今後も制度の周知に努めます。				

〔タクシー料金助成事業扶助費〕	55,462,300 円	〔国庫支出金 19,100,000 円〕
初乗り運賃相当額の乗車券を年 72 枚交付		〔県支出金 9,555,000 円〕
利用枚数 88,263 枚		
〔自動車燃料費用助成事業扶助費〕	16,699,569 円	〔国庫支出金 8,326,000 円〕
助成件数 延べ 6,961 件		〔県支出金 4,163,000 円〕
〔福祉環境整備事業費〕	1,013,250 円	〔県支出金 999,000 円〕
点字プリンタ 999,600 円		
点字ブロック補修（幸町） 13,650 円		

目的	社会参加の場の整備の充実				
指標	障害者体育センター利用者数	目標	2,700 人	実績	3,900 人 (18年度 2,201 人)
説明	障害者がスポーツを通じて身体機能の維持・健康の増進を図るとともに、相互の交流と理解を深めるための活動の場として障害者体育センターの管理運営を行いました。障害当事者が組織する特定非営利活動法人障害者福祉チャレンジド・ネットに業務を委託し、障害者特性を生かした管理運営を行うことができました。18年度は耐震工事のため利用者が減少しましたが、19年度から利用時間の区分を見直したことにより、利用者の増加につながりました。今後ともその利用促進に努めます。また、重度知的障害者更生施設に対して運営にかかる補助を行い、施設の経営の安定化を図り、社会参加の場の整備充実に努めました。				

〔障害者体育センター管理運営費〕	4,192,764 円	（その他特財 39,168 円）
開館日数 292 日		
〔重度知的障害者通所更生施設運営費補助金〕	10,569,000 円	
サクラノ園に対する運営費助成 定員 30 人		通所者数 延べ 360 人

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設

説明	心身障害者小規模作業所等への運営費にかかる補助を行い、日中活動や就労の場の確保に努めました。平成 19 年度中に、小規模作業所等のうち 3 カ所が障害者自立支援法に基づく就労支援等の事業に移行し、経営基盤の安定化に向けた取り組みがなされました。また、通所にかかる経費助成を行い、施設利用を促進しました。
----	---

〔心身障害者小規模作業所運営費補助金〕 100,897,000 円

(国庫支出金 16,685,000 円
県支出金 39,307,000 円
その他特財 6,628,000 円)

施設名	実施額(円)	延べ通所者数(人)	月平均利用者数(人)
みはま作業所	6,982,000	110	9
オンリーワン	12,498,000	233	19
生活倶楽部きりん	7,910,000	116	10
尾上授産所	10,888,000	185	15
みどりの家日永	12,342,000	185	15
日永福祉作業所	7,419,000	108	9
メダカ出版所	7,162,000	69	6
来夢	8,613,000	71	6
コミュニティハウス・ホコソ (就労継続、就労移行支援に移行)	5,496,000	104	17
わかば共同作業所	11,589,000	266	23
ゆったりクラブ	7,703,000	164	14
菰野フェアーク(菰野町)	607,000	9	1
四季の会(鈴鹿市)	588,000	30	4
すずわの家(〃)	161,000	8	1
ひまわり作業所(朝日町)	366,000	12	1
ワークスクラム(桑名市)	320,000	12	1
ワークルーム桑友(〃)	253,000	12	1
計	100,897,000	1,694	-

〔小規模通所授産事業運営費補助金〕 6,200,000 円 (県支出金 3,750,000 円
その他 584,000 円)

みのり工房 利用者数 延べ 135 人
(就労継続、就労移行支援に移行)

〔小規模作業所等通所費助成事業費〕 41,212,136 円 (県支出金 15,057,000 円)

通所費(公共交通機関)利用者数 200 人
通所サービス利用促進助成(施設送迎バス)利用者数 219 人

〔通所利用支援費〕 9,198,304 円 (県支出金 3,528,000 円)

利用者数 273 人

〔福祉の店運営費補助金〕 4,298,552 円

延べ開店日数 584 日、売上点数 11,620 点 売上金額 4,810,238 円

〔はり・きゅう・マッサージ給付事業費補助金〕 10,798,700 円

1 枚当たり 1,000 円補助、利用枚数 10,742 枚

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム・ケアホーム利	目標	81 人	実績	88 人

	用者数				
説明	「施設から地域へ」を実現するため、グループホーム・ケアホームは、障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。今後も、事業所に働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備に努めるとともに、安定した運営が行えるよう支援します。				
	〔障害者共同生活介護等支援事業費〕	3,990,232 円		(県支出金	1,995,000 円)
	家賃補助利用者数 47 人				
	〔生活ホーム運営委託費〕	3,891,999 円		(県支出金	1,272,000 円)
	富田ハウス 4 人				
	〔在宅重度身体障害者住宅改造費補助金〕	1,279,000 円		(県支出金	54,000 円)
	補助件数 5 件				
目的	理解と交流の促進				
指標	参加者数 (障害者大会、ふれあい農園)	目標	1,050 人	実績	1,080 人 (18 年度 1,007 人)
説明	障害者団体による実行委員会や運営委員会で協議を重ね、障害に対する正しい理解と認識を深めるための交流・啓発活動を行いました。ふれあい農園の収穫祭は、障害者団体等の取組みとして定着しており、障害者団体間の連携を強め協働で事業を推進します。				

〔ふれあい農園運営費〕		
収穫祭	参加 460 人	1,331,184 円
〔障害者福祉推進事業費〕		430,000 円
障害者大会事業費補助	参加 620 人	

その他経費

〔訪問給食サービス事業費〕	651,330 円	〔国庫支出金 325,000 円 県支出金 162,000 円〕
利用者 18 人、延べ 7,237 食		
〔福祉電話貸与事業費〕 18 台分	426,850 円	
〔緊急通報装置貸与事業費〕 5 台	128,520 円	
〔福祉住宅相談室経費〕	189,799 円	
〔障害者ホームヘルパー等養成事業費〕	549,020 円	
〔障害者福祉施設整備事業費〕	6,107,626 円	
〔一般経費〕	4,125,101 円	

目 4 老人福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
418,988,000 円	406,039,430 円	96.9%	0 円	12,948,570 円

目的	高齢者が自立した生活を送れるように支援する				
指標	在宅介護支援センター相談件数	目標	24,000 件	実績	29,684 件 (18 年度 23,833 件)
説明	ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、介護を要する状態になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、25 カ所の在宅介護支援センターに相談業務などを委託し、状況に応じて訪問給食事業などの福祉サービスを提供しました。また、高齢者の総合的支援のための中核機関である地域包括支援センター3 カ所とそのランチとしての機能を有する在宅介護支援センターとが互いに連携し、相談・調整機能の充実を図りました。				

〔老人福祉一般事業費〕	75,000 円
・老人ホーム入所判定委員会経費 9 回開催	75,000 円
〔寝たきり等老人対策事業費〕	121,130,702 円
・日常生活用具給付等事業費 2,056 件	6,052,620 円
・高齢者住宅改造費補助金 27 件	6,084,700 円 (県支出金 2,504,000 円)

- ・在宅介護支援センター事業費 25 ヲ所 108,174,000 円
- ・低所得者利用者負担対策事業費 32 人認定 819,382 円 (県支出金 614,000 円)
- [老人福祉施設事務費事業費] 225,298,831 円 (その他特財 45,269,831 円)

養護老人ホームへの措置状況

施設名	前年度末 入所者数 (人)	入所措置 (人)	退所措置 (人)	本年度末 入所者数 (人)	措置費(円)
寿楽陽光苑	97	5	13	89	166,799,143
みずほ寮	5	0	0	5	8,646,413
翠明院	11	9	4	16	27,310,473
高田慈光院	3	0	0	3	5,463,714
梨の木園	3	1	0	4	11,535,442
桑名市清風園	1	2	0	3	3,883,690
計	120	17	17	120	223,638,875

[社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金]

- ・社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金 36 人認定 111,210 円 (県支出金 50,000 円)
- [高齢者虐待防止事業費] 214,585 円

目的	社会参加活動の支援				
指標	老人クラブ社会参加活動実施回数	目標	1,100 回	実績	951 回 (18 年度 988 回)
説明	地域社会において高齢者の健康増進、相互扶助や社会貢献などの取り組みを行う老人クラブに対して事業費の補助を行いました。また、市老人クラブ連合会が行うボランティアや子どもへの交通安全指導などの活動を推進するよう支援しました。これらにより、登下校時の子どもの見守りや軽スポーツを通じた世代間交流など地域活動が促進されました。				

- [老人福祉一般事業費] 32,560,808 円
 - ・敬老行事費(地区敬老行事) 30,346,560 円
 - ・敬老訪問事業費(最高齢者・100歳) 23人 114,248 円
 - ・敬老金の支給(100歳) 21人 2,100,000 円
- [いきがい対策事業費] 24,732,151 円
 - ・老人クラブ社会貢献支援事業 1,610,000 円
 - ・老人クラブ運営費補助金(238クラブ21,335人) 13,957,300 円 (県支出金 6,898,000 円)
 - ・ふれあいいきいきサロン推進事業費 9,164,851 円

その他経費

- ・一般経費 1,916,143 円

目5 国民年金費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,407,000 円	8,335,515 円	88.6%	0 円	1,071,485 円

第1号被保険者にかかる各種届出の受理等を法定受託事務として実施しました。また、国との協力・連携事務の一環として年金制度の啓発活動を実施しました。

- [国民年金事務費] 8,320,515 円 (国庫支出金 8,320,515 円)
- [負担金] 15,000 円 (国庫支出金 15,000 円)

資格関係届出書受付	7,777 件
免除申請受付	10,116 件
年金裁定請求等の受付	2,407 件

国民年金の加入状況（本市で事務を行わない第2号被保険者を除く。）

区 分	第1号被保険者	第3号被保険者	任意加入被保険者	合計
年度末現在の被保険者数(人)	42,329	30,632	706	73,667

「第1号被保険者」とは、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満で第2号又は第3号被保険者以外の人

「第2号被保険者」とは、厚生年金保険又は共済組合等の加入者

「第3号被保険者」とは、第2号被保険者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人

「任意加入被保険者」とは、国民年金の適用除外者のうち、本人の希望により加入した人

目6 老人福祉センター費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
64,663,000 円	64,181,975 円	99.3%	0 円	481,025 円

目的	介護予防活動の支援				
指標	老人福祉センター利用者数	目標	103,000 人	実績	83,313 人 (18年度 102,751 人)
説明	高齢者が健康で生きがいある生活を送れるよう支援するため、老人福祉センターを2カ所設置し、施設の運営を指定管理者（中央老人福祉センターは社会福祉法人四日市市社会福祉協議会、西老人福祉センターは社会福祉法人風薫会）に委託しています。それぞれ、利用者サービスの向上に努めましたが、西老人福祉センターでは約5カ月間浴室を閉鎖し、レジオネラ対策工事を行ったため利用者が減少しました。				

〔老人福祉センター管理運営費〕 57,753,350 円

〔老人福祉センター整備事業費〕 6,428,625 円

老人福祉センターの利用状況

施設名	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
中央老人福祉センター	298	46,483	156
西老人福祉センター	296	36,830	124
計		83,313	

* 西老人福祉センターの浴室の閉館日数 114 日

項2 児童福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,392,310,000 円	9,257,347,996 円	98.6%	0 円	134,962,004 円

目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
------	------	------------	--------	-----

		対する割合		
6,716,524,000 円	6,644,520,010 円	98.9%	0 円	72,003,990 円

〔一般職給〕	330 人	2,317,583,059 円	〔国庫支出金 13,200,546 円 県支出金 26,117,108 円 その他特財 515,514,877 円〕
〔再任用職給〕	2 人	6,375,710 円	
〔嘱託職給〕	29 人	101,972,792 円	

(児童福祉課)

目的	子育て家庭への支援サービスの提供				
指標	あそぼう会参加者数	目標	延べ 78,000 人	実績	延べ 74,130 人 (18 年度 72,822 人)
説明	<p>育児の不安やストレスを抱える家庭が増加する中、保育園併設型の子育て支援センターを、こっこ保育園、みのり保育所において 2 ヲ所拡充し、既設の単独型、保育園や医療機関併設型と合わせ計 12 ヲ所の子育て支援センターで、楽しんで子育てできるように相談や情報提供、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行いました。</p> <p>関係機関や地域が未就園児童等の情報を共有し、支援を必要とする家庭に早期に育児支援を行うため、地域で開催する「地域子育てネット 0～6」会議と連携して、地域の子どもの「見守り」に努めました。</p> <p>子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて保健、医療、福祉、教育、警察、地域等、関係機関と「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を開催するとともに、市民との協働で行う子育て応援セミナーの開催など、虐待防止事業を実施しました。今後も、地域や子育てを支援する団体、関係者との連携を図りながら、子育て家庭に対する支援を進めます。</p> <p>公立保育園の民営化については、社会福祉法人への移管に伴い、移管時及び移管後の円滑な運営を図ることを目的とし、平成 20 年度移管の高花平、三重保育園において移管先法人の保育士を受け入れ、1 年間かけて保育に関する引き継ぎを行うとともに、平成 19 年度移管の河原田、水沢、西浦保育園において移管先法人が行う施設の整備や新たに休日保育を実施する西浦保育園及び一時保育等を実施する河原田、水沢保育園の施設整備に対して助成を行いました。今後も保護者や移管先法人と協議を進め、移管後の保育を支援します。</p>				

〔子育て支援センター管理運営費〕	8,337,497 円	
・子育て支援センター管理運営費	6,975,661 円	(県支出金 1,955,000 円)
・子育て支援センター事業費	1,361,836 円	(県支出金 451,000 円)
〔児童福祉一般事業費〕	612,986,082 円	
・臨時職員賃金	606,221,180 円	〔(国庫支出金 3,174,000 円) (県支出金 19,272,000 円) (その他特財 3,046,907 円)〕
・家庭児童相談経費	235,659 円	
・児童虐待防止対策事業費	1,221,591 円	
・一般経費	5,307,652 円	
〔次世代育成支援行動計画推進事業費〕	334,612 円	
〔保育所民営化推進事業費〕	108,297,343 円	(国庫支出金 13,394,000 円)

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	病児保育室利用者数	目標	3.8 人/日	実績	3.6 人/日

				(18年度 3.8人/日)
説明	病気回復期の児童をあずかることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。利用実績が前年を下回ったのは、インフルエンザの流行時期が例年より短かったためと考えます。 なお、病児保育室の利用定員は、1日につき6人です。			

〔病児保育室管理運営費〕 15,017,434円 (国庫支出金 4,494,000円
 その他特財 1,507,000円)

年間実績

開設日数	登録者数	延べ利用者数
265日	1,510人	967人

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	相談件数	目標	延べ1,300件	実績	延べ1,279件 (18年度 1,125件)
説明	母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談業務や技能習得講座を通じて生活の安定と自立を図りました。				

〔母子福祉センター管理運営費〕 4,300,000円

年間実績

延べ相談件数	1,279人
技能習得講座延べ受講者数	221人
サークル延べ活動者数	1,054人

目的	障害児の療育等の充実				
指標	障害児・保護者訓練指導事業実施者数	目標	延べ3,918人	実績	延べ3,829人 (18年度延べ3,918人)
説明	あけぼの学園と健康増進センターにおいて、発達の遅れのある児童とその保護者に対し、心理、言語、理学及び作業等の訓練指導を行いました。 ボランティア団体が実施する障害児訓練事業に対して助成することにより、障害児の機能強化の推進を図りました。 おもちゃ図書館において、障害のある子どもがおもちゃを通して仲良く遊び、ふれあえるきっかけをつくるとともに、子どもの情緒や生活機能の発達を促しました。				

〔心身障害児訓練事業費〕 1,028,158円
 ・障害児・保護者訓練指導事業 824,158円 (その他特財 800,000円)
 ・障害児機能強化事業費補助金 204,000円

障害児・保護者訓練指導事業実績 (実登録者数 605人) (単位:人)

区分	心理	言語	理学	作業	計
訓練指導別登録者数	498	551	172	333	1,554
延べ訓練指導実施者数	429	1,523	741	1,136	3,829

P・T(理学療法)スイミング事業実績(学齢以上)
 登録者数 37人 延べ訓練指導実施者数 94人

〔おもちゃ図書館管理運営費〕 1,252,646円

延べ利用者数 6,239人

(福祉総務課)

目的	各種手当の支給
----	---------

指標	受給者数等	目標	23,562 人	実績	23,167 人 (18 年度 23,219 人)
説明	児童の健全育成や児童の福祉の増進を図ることを目的に、各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。児童手当の3歳児未満の支給額は、平成19年4月から一律月額10,000円になり、受給者数は75人の増となりました。				

(受給者数等は年度末)

〔児童手当の支給〕	2,449,535,000 円			
児童手当 受給者数	20,451 人			
区分	受給者数	対象児童数	支給額	特定財源
・被用者	5,195 人	5,653 人	624,785,000 円	(国庫支出金 499,328,000 円 県支出金 62,416,000 円)
・非被用者	1,628 人	1,768 人	197,845,000 円	(国庫支出金 65,736,666 円 県支出金 65,736,666 円)
・特例給付	291 人	315 人	32,070,000 円	(国庫支出金 32,010,000 円)
・小学校修了前被用者	9,794 人	18,678 人	1,179,230,000 円	(国庫支出金 392,826,667 円 県支出金 392,881,667 円)
・小学校修了前非被用者	3,543 人	6,418 人	415,605,000 円	(国庫支出金 138,733,333 円 県支出金 138,733,333 円)
〔児童扶養手当の支給〕	1,006,178,245 円 (国庫支出金 334,266,226 円)			
児童扶養手当 受給資格者数	2,391 人			
〔重症心身障害児手当の支給〕	7,720,000 円			
重症心身障害児手当 受給者数	325 人			
〔一般経費〕	3,601,432 円			

目2 保育所費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
403,751,000 円	376,862,340 円	93.3%	0 円	26,888,660 円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	公立保育園入園児童数	目標	2,450 人(定員) (18 年度 2,720 人)	実績	2,427 人 (18 年度 2,679 人)
説明	低年齢の児童が増加するなか、保護者が働いていたり、病気などで家庭での保育ができない乳幼児について、保護者が安心して保育園に子どもを預けられるよう努めました。公立保育園の園舎等施設の整備・改修及び適正な維持管理を行い、保育環境の向上と安全の確保に努めました。				

〔非常勤職員報酬〕	14,500,800 円			
・嘱託医師	27 人	7,526,400 円		
・嘱託歯科医師	27 人	6,974,400 円		
〔保育所一般事業費〕	2,868,830 円 (その他特財 1,060,000 円)			
〔親と子どもの豊かな育ち事業費〕	136,418 円			
〔保育所整備事業費〕	40,870,607 円			
・保育所整備事業費	32,401,485 円			
・保育所仮設園舎整備費	3,412,500 円			
・保育所備品整備費	5,056,622 円 (県支出金 1,319,000 円)			
〔保育所管理運営費〕	317,138,064 円			
・保育所管理運営費	313,984,095 円 (県支出金 5,162,000 円)			

		その他特財	169,524,541 円
・ 保育所地域交流事業費	3,153,969 円		
〔負担金〕	1,347,621 円	(その他特財)	596,160 円)
・ 日本スポーツ振興センター共済掛金等			

公立保育園入所状況

(単位：人)

保育園名	定員	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数	児童入所率 (%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
橋北	120	1,458	298	261	899	121.5	101.25
富洲原	120	1,536	382	341	813	128.0	106.67
塩浜西	60	773	137	180	456	64.4	107.36
四郷	120	1,263	192	239	832	105.3	87.71
羽津	120	1,497	326	386	785	124.8	103.96
あがた	90	961	181	248	532	80.1	88.98
大矢知	110	1,351	268	255	828	112.6	102.35
中央	120	1,356	340	343	673	113.0	94.17
ときわ	150	1,850	496	317	1,037	154.2	102.78
富田	80	995	279	196	520	82.9	103.65
高花平	60	741	177	168	396	61.8	102.92
海蔵	110	1,492	441	316	735	124.3	113.03
下野	60	529	164	122	243	44.1	73.47
内部	130	1,706	378	327	1,001	142.2	109.36
磯津	40	513	88	130	295	42.8	106.88
坂部	60	690	143	172	375	57.5	95.83
保々	100	1,342	297	327	718	111.8	111.83
笹川	100	1,038	185	304	549	86.5	86.50
三重	60	740	208	86	446	61.7	102.78
神前	80	1,017	256	254	507	84.8	105.94
日永中央	110	1,292	321	289	682	107.7	97.88
笹川西	100	970	274	232	464	80.8	80.83
桜台	90	1,009	169	240	600	84.1	93.43
下野中央	70	912	237	166	509	76.0	108.57
八郷西	60	637	161	108	368	53.1	88.47
くす南	70	902	237	200	465	75.2	107.38
くす北	60	548	265	274	9	45.7	76.11
市内 公立計	2,450	29,118	6,900	6,481	15,737	2,426.5	99.04
広域 5市3町	8園	69	27	14	28	5.8	
公立計		29,187	6,927	6,495	15,765	2,432.3	

(参) 公私立保育園総合計

(単位：人)

年度	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数
		3歳児未満	3歳児	4歳児以上	
18年度	56,348	15,432	12,950	27,966	4,696
19年度	55,962	15,801	12,327	27,834	4,663

公立保育園延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

(単位：人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----

中央	7	8	9	9	9	9	10	9	8	8	10	8	8.7
----	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	----	---	-----

公立保育園一時保育年間利用実績（月別延べ利用児童数）

（単位：人）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	2	10	11	7	4	23	21	23	11	19	17	23	171
橋北	46	70	90	72	52	74	64	67	52	58	78	76	799
合計	48	80	101	79	56	97	85	90	63	77	95	99	970

公立保育園特定保育年間利用実績（月別利用児童数）

（単位：人）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
橋北	0	0	0	2	2	2	3	3	3	3	3	2	23
合計	0	0	0	3	3	3	4	4	4	4	4	3	32

目3 民間児童福祉施設運営費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,234,714,000 円	2,202,169,668 円	98.5%	0 円	32,544,332 円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	民間保育所入園児童数	目標	2,070 人（定員） （18年度 1,725 人）	実績	2,076 人 （18年度 1,855 人）
説明	民間保育所の適正な運営がなされるよう指導及び助言を行うとともに、民間保育所の保育内容充実のための各種補助施策を実施しました。なお、市民の多様な保育ニーズに応えるため、乳児保育（4カ所）、延長保育（5カ所）、特定保育（2カ所）、一時保育（4カ所）をそれぞれ拡充するとともに、日曜、祝日に働く保護者のための休日保育を「西浦保育園」で新たに実施するなど、特別保育の拡充に努めました。				

〔保育所事務費事業費〕

1,871,294,217 円

・児童一般分

1,750,485,350 円

（国庫支出金 468,306,870 円
県支出金 234,153,435 円
その他特財 535,591,006 円）

・民間施設加算

120,808,867 円

（県支出金 7,377,000 円）

民間保育所入所状況

（単位：人）

保育園名	定員	延べ入所児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入所児童数	児童入所率（%）
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,214	291	304	619	101.2	112.41
厚生会	60	686	188	154	344	57.2	95.28
浜田	90	1,068	268	277	523	89.0	98.89
ローズ	100	1,308	419	309	580	109.0	109.00
海山道	120	1,541	581	217	743	128.4	107.01
塩浜	60	535	128	127	280	44.6	74.31
愛華	90	1,303	409	286	608	108.6	120.65
三重愛育	150	2,091	633	421	1,037	174.3	116.17
あやめ	60	391	51	76	264	32.6	54.31
みのり	90	1,144	419	258	467	95.3	105.93
かわしま	120	1,462	368	287	807	121.8	101.53
大谷台	110	1,302	363	306	633	108.5	98.64
フジ	110	1,459	484	346	629	121.6	110.53

いずみ	100	1,380	417	330	633	115.0	115.00
あがたが丘	90	1,182	335	235	612	98.5	109.44
ひよこ	90	1,102	447	210	445	91.8	102.04
陽光台	75	938	269	237	432	78.2	104.22
たいすい	120	1,428	711	324	393	119.0	99.17
こっこ	90	715	349	166	200	59.6	66.20
西浦	60	456	456	0	0	38.0	63.33
河原田	90	944	222	235	487	78.7	87.41
水沢	60	824	188	240	396	68.7	114.44
たいすい中央	45	438	356	36	46	36.5	81.11
市内民間計	2,070	24,911	8,352	5,381	11,178	2,075.9	100.29
くまだ		294	72	42	180	24.5	
岸田		942	187	246	509	78.5	
広域6市2町	29園	628	263	163	202	52.3	
市外民間計		1,864	522	451	891	155.3	
民間計		26,775	8,874	5,832	12,069	2,231.3	

〔民間保育所振興費〕	229,810,588円		
・民間保育所運営費補助金	34,540,100円		
・民間保育所園児健康診断料等補助金	10,569,590円		
・障害児保育事業費補助金	4,908,960円	(県支出金	1,549,000円)
・民間保育所乳児保育促進事業費補助金	13,715,720円		
・延長保育事業費補助金	121,582,283円	(国庫支出金	65,125,000円)
		県支出金	1,602,000円)

民間保育所延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数) (単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ローズ	20	22	24	20	19	21	23	24	24	24	25	25	22.6
海山道	4	4	4	4	4	4	5	3	4	4	4	3	3.9
塩浜	2	2	2	1	2	3	3	4	3	2	2	2	2.3
愛華	16	19	19	16	16	21	20	22	21	20	22	22	19.5
三重愛育	4	4	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	4.6
みのり	6	6	5	8	5	6	6	5	6	5	8	9	6.3
かわしま	3	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	3	3.3
大谷台	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	1.4
フジ	14	20	17	18	15	17	20	19	18	16	17	18	17.4
いずみ	8	8	9	10	10	9	9	8	9	10	11	11	9.3
あがたが丘	3	4	4	4	6	5	5	6	4	7	6	6	5.0
ひよこ	23	24	26	29	24	24	24	22	24	20	22	22	23.7
陽光台	3	4	4	3	4	6	5	6	5	4	5	5	4.5
たいすい	8	8	7	7	7	9	9	9	9	9	10	10	8.5
こっこ	5	6	7	8	8	8	7	7	7	7	6	8	7.0
西浦	2	4	4	3	3	3	5	3	3	2	3	2	3.1
河原田	4	5	4	4	3	4	3	4	3	4	5	5	4.0
水沢	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2.2
たいすい中央	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	2	1.4
合計	129	147	148	146	138	152	157	155	155	150	160	163	150.0

・一時保育事業費補助金 14,436,000円 (県支出金 6,701,000円)

民間保育所一時保育年間利用実績(月別延べ利用児童数) (単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	92	123	120	104	54	121	148	143	117	143	162	152	1,479
いずみ	51	86	96	84	67	58	102	110	88	69	84	72	967
ひよこ	71	108	78	127	66	122	133	117	102	86	93	66	1,169
かわしま	24	34	37	34	29	40	53	54	47	54	61	38	505
たいすい	4	6	10	8	2	4	3	13	5	6	5	4	70
みのり	0	11	40	45	50	46	77	118	107	97	112	112	815
海山道	5	22	35	14	22	34	27	37	28	19	15	21	279
こっこ	0	8	15	46	23	33	47	56	51	55	47	56	437
西浦	7	22	8	6	17	21	24	21	15	27	25	20	213
合計	254	420	439	468	330	479	614	669	560	556	604	541	5,934

・民間保育所特定保育事業費 15,147,000 円 (県支出金 1,350,000 円
その他特財 2,080,900 円)

民間保育所特定保育年間利用実績(月別利用児童数)

(単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	34
いずみ	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	21
ひよこ	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	21
浜田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たいすい	1	0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2	15
こっこ	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	8
西浦	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	7
合計	6	6	6	6	8	9	9	11	9	11	12	13	106

・休日保育事業費補助金 5,388,000 円 (県支出金 659,000 円
その他特財 99,000 円)

年間実績(平成19年10月~20年3月)

(単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
西浦							19	20	9	10	10	12	80

- ・家庭支援推進保育事業費補助金 2,442,000 円 (県支出金 1,436,000 円)
- ・民間保育所地域活動事業費補助金 3,931,640 円 (国庫支出金 1,999,000 円)
- ・子育て支援推進保育事業費補助金 2,823,300 円 (県支出金 1,411,000 円)
- ・認可外保育施設職員健康診断料補助金 325,995 円 (県支出金 222,000 円)

[民間保育所整備事業費] 3,043,000 円 (県支出金 1,521,000 円)

目的	子育て家庭への支援サービスの提供			
指標	民間子育て支援センター 指定施設数	目標	6施設	実績
説明	子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置する民間保育所や医療機関に対して助成することにより、育児等の相談や指導など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。また、緊急保護が必要な母子については母子生活支援施設において、児童については乳児院・児童養護施設において短期入所事業を実施しました。			
			7施設 (18年度 5施設)	

[地域子育て支援拠点事業費補助金] 25,966,000 円 (県支出金 15,593,000 円)
 [子育て支援ショートステイ事業費] 606,900 円 (国庫支出金 243,000 円)
 ・エスペランス四日市 19人 (その他特財 105,450 円)

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	母子生活支援施設入所世帯数	目標	延べ 350 世帯	実績	延べ 202 世帯 (18 年度延べ 215 世帯)
説明	保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。 また、配偶者による暴力を受けていたり、経済的基盤が弱い母子家庭には、母子生活支援施設の活用、さらに母子家庭や寡婦については、母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談や就労に必要な環境づくりを行い、安定した生活が確保できるよう努めました。				

〔母子生活支援施設事務費事業費〕 43,855,080 円
・菜の花苑外 6 施設 延べ 202 世帯利用

〔国庫支出金 22,936,513 円
県支出金 11,468,256 円
その他特財 151,150 円〕

〔第二種助産施設事務費事業費〕 148,080 円
・県立総合医療センター

目的	家庭での生活が困難な児童（乳児を含む）のあずかりと安心した生活の確保				
指標	運営協議会開催回数	目標	3 回	実績	3 回 (18 年度 3 回)
説明	平成 15 年 4 月に民営化した児童養護施設・乳児院「エスペランス四日市」について、子どもの処遇向上を促進するとともに、円滑な運営を確保するため、施設等整備費及び職員配置等に対する財政面での支援をはじめ、運営協議会への参加など必要な支援を行いました。今後も、引き続き円滑な運営のための支援を行います。				

〔民間児童養護施設等支援事業費〕 27,445,803 円
・エスペランス四日市（定員 児童養護施設 55 人、乳児院 25 人）

目 4 児童館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
12,088,000 円	10,724,908 円	88.7%	0 円	1,363,092 円

目的	児童館活動などを通じた遊びの充実				
指標	児童館利用者数	目標	延べ 44,000 人	実績	延べ 46,917 人 (18 年度 44,325 人)
説明	児童の健全育成の場として「あそび」を通じた児童の自主的、創造的活動の援助、指導や社会性を養うためのグループ活動の推進を図るとともに、映画会の開催や図書の整備など優良児童文化の提供に努めました。 児童館において「不登校や引きこもりの児童」に対するパソコンを活用した創作活動、踊り等の自己表現活動、卓球等のスポーツ活動といったプログラムを提供するなどの児童健全育成事業を行いました。また、各館ごとの児童館まつりの開催など、地域との交流にも努めました。				

〔施設管理運営費〕 7,784,749 円
〔児童館自主事業費〕 853,809 円
〔施設整備事業費〕 2,086,350 円

児童館の利用状況

施設名	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
北部児童館	252	15,361	61

橋北児童館	252	11,826	47
塩浜児童館	250	5,620	22
こどもの家	252	14,110	56
計	-	46,917	186

移動児童館事業

実施回数(回)	実施地区数 (箇所)	参加者数(人)	1回平均 参加者数(人)	事前講習(回)
21	14	3,451	164	1

目5 知的障害児通園施設費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
17,152,000 円	15,543,212 円	90.6%	0 円	1,608,788 円

目的	障害のある乳幼児の早期療育				
指標	発達指数が伸びた児童の比率	目標	22%	実績	33% (H18年 22%)
説明	あけぼの学園通園部(定員 50 人)は児童福祉法に基づく施設で、就学前の発達に遅れのある児童や障害のある児童に対して、保育園・幼稚園生活の前段階の療育(保育)を行いました。基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てることなどをねらいにして、児童が少しでも自立できるように取り組み、また、保護者に対しても相談・援助に努めました。平成 19 年度は子どもの発達状態に合わせた指導等の効果が上がり、個々の子どもの持っている力(発達する力)を前年度よりも引き出すことができました。生活経験の場が広がり、社会性の発達が促され、知的面の発達につながりました。				

〔非常勤職員報酬〕 432,000 円
 ・嘱託医師 2 人
 〔あけぼの学園(通園部)管理運営費〕 14,840,312 円 (その他特財 14,725,437 円)
 〔一般事業費〕 270,900 円

入園状況 (単位:人)

性別	本年度末 在園児数	年齢別内訳				
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	35	1	13	18	3	0
女	17	1	5	10	1	0
計	52	2	18	28	4	0

目6 児童福祉施設費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,081,000 円	7,527,858 円	93.2%	0 円	553,142 円

目的	発達の遅れが心配な乳幼児の早期療育				
指標	デイサービスの利用率 (出席率)	目標	72%	実績	71% (18年度 72%)
説明	あけぼの学園療育部(定員 1 日 20 人)は障害者自立支援法に基づく児童デイサービ				

事業所として、ことば・身体運動面・生活面など、発達の遅れが心配な乳幼児を対象とした療育を行いました。親子で通っていただき、子どもに対しては、基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てることなどをねらいにして、また、保護者に対しては子どもの理解や遊びを通して子どもとのかかわり方を学んでもらうなど、相談・援助に努めました。乳幼児本人の病気や家族の諸事情で欠席する日もあり、出席率は昨年と同程度でした。今後も子どもの発達特性に応じた療育を行います。年度未利用児100人。

〔非常勤職員報酬〕 216,000 円
 ・嘱託医師 1人
 〔あけぼの学園（療育部）管理運営費〕 7,311,858 円 （その他特財 7,118,496 円）
 入園状況 (単位：人)

性別	本年度末 在園児数	年 齢 別 内 訳					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	60	3	15	20	17	5	0
女	40	2	13	10	12	1	2
計	100	5	28	30	29	6	2

項3 生活保護費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,808,084,000 円	4,794,143,339 円	99.7%	0 円	13,940,661 円

目1 生活保護総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
167,695,000 円	166,222,637 円	99.1%	0 円	1,472,363 円

〔一般職給〕 23人 148,256,680 円
 〔非常勤職員報酬〕 1,665,600 円
 ・嘱託医師 1人
 〔生活保護適正実施推進事業〕 6,777,672 円 (国庫支出金 6,775,000 円)
 ・臨時職員 4人 5,316,632 円
 〔その他経費〕 9,522,685 円
 ・診療報酬支払事務委託料 3,107,108 円
 ・一般経費 6,415,577 円

目2 扶助費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,640,389,000 円	4,627,920,702 円	99.7%	0 円	12,468,298 円

目的	適正な保護を実施できる				
指標	生活保護開始件数	目標	320 件	実績	306 件 (18年度 312 件)
	自立支援助言件数	目標	930 件	実績	929 件 (18年度 889 件)

説明	<p>生活に困窮する市民に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するセーフティネット機能として適正な保護を実施するため、平成 19 年度は生活問題を抱える市民から 1,235 件の相談を受け、生活状況を的確に把握した結果、306 件に生活保護を開始しました。また、保護の適用に至らないケースについても他の制度を紹介したり、生活改善に向けた助言を行いました。</p> <p>平成 19 年度の生活保護適用状況は高齢者世帯等の増加、雇用情勢の変化などの社会的状況を反映して、保護率 9.2‰ (18 年度 9.1‰) 人数は 2,867 人 (18 年度 2,833 人) となり、被保護者は増加しました。一方、扶助費は更生医療の新たな導入により、医療扶助が減少したことから前年と比べて 118,102 千円の減額となりました。</p>
----	--

〔扶助費〕 延べ 89,826 人 4,627,920,702 円 (国庫支出金 3,428,485,000 円)
(県支出金 211,846,152 円)

生活保護費支給内訳

区分	延べ人数(人)	1ヵ月平均(人)	支出額(円)	割合(%)
生活扶助	28,827	2,402	1,441,645,540	31.15
住宅扶助	25,195	2,100	478,567,881	10.34
教育扶助	3,103	259	20,418,644	0.44
介護扶助	3,956	330	92,890,971	2.01
医療扶助	27,333	2,278	2,498,266,927	53.98
出産扶助	13	-	3,755,680	0.08
生業扶助	798	67	10,061,517	0.22
葬祭扶助	48	-	4,555,442	0.10
施設事務費	553	46	77,758,100	1.68
合計	89,826		4,627,920,702	100.00

項 4 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,439,000 円	1,863,767 円	76.4%	0 円	575,233 円

目 1 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,138,000 円	1,863,767 円	87.2%	0 円	274,233 円

〔災害への支援〕

- ・災害見舞金等 死亡 2 件、全焼等被害 16 件、半焼被害 1 件、床上浸水 1 件
1,631,820 円 (その他特財 1,631,820 円)
- ・災害救助基金積立金 231,947 円 (その他特財 231,947 円)
(平成 19 年度末現在高 111,983,169 円)

目 2 災害救助基金積立準備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
301,000 円	0 円	0.0%	0 円	301,000 円

項 5 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額

2,081,341,000 円	2,081,341,000 円	100.0%	0 円	0 円
-----------------	-----------------	--------	-----	-----

目 1 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,081,341,000 円	2,081,341,000 円	100.0%	0 円	0 円

国民健康保険特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金 1,545,394,175 円を含む 2,081,341,000 円の繰出を行いました。

- ・ 保険基盤安定繰出金 1,043,941,847 円 (国庫支出金 88,238,513 円)
(県支出金 694,717,871 円)
- ・ 職員給与費等繰出金 312,686,661 円
- ・ 出産育児一時金等繰出金 102,866,667 円
- ・ 財政安定化支援事業繰出金 85,899,000 円
- ・ その他一般会計繰出金 535,946,825 円

項 6 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,035,235,000 円	2,035,235,000 円	100.0%	0 円	0 円

目 1 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,035,235,000 円	2,035,235,000 円	100.0%	0 円	0 円

介護保険給付費及び事務費について、介護保険特別会計へ繰出を行いました。